

第6章 音楽

1 小学校音楽科の内容のまとめ

小学校音楽科における内容のまとめは、以下のようになっている。

〔第1学年及び第2学年〕

「A表現」(1)歌唱の活動 及び〔共通事項〕(1)

「A表現」(2)器楽の活動 及び〔共通事項〕(1)

「A表現」(3)音楽づくりの活動 及び〔共通事項〕(1)

「B鑑賞」(1)鑑賞の活動 及び〔共通事項〕(1)

〔第3学年及び第4学年〕

「A表現」(1)歌唱の活動 及び〔共通事項〕(1)

「A表現」(2)器楽の活動 及び〔共通事項〕(1)

「A表現」(3)音楽づくりの活動 及び〔共通事項〕(1)

「B鑑賞」(1)鑑賞の活動 及び〔共通事項〕(1)

〔第5学年及び第6学年〕

「A表現」(1)歌唱の活動 及び〔共通事項〕(1)

「A表現」(2)器楽の活動 及び〔共通事項〕(1)

「A表現」(3)音楽づくりの活動 及び〔共通事項〕(1)

「B鑑賞」(1)鑑賞の活動 及び〔共通事項〕(1)

2 小学校音楽科における「内容のまとまりごとの評価規準」作成の手順

ここでは、第1学年及び第2学年「A表現」(1)歌唱の活動及び〔共通事項〕(1)、第5学年及び第6学年「A表現」(3)音楽づくりの活動及び〔共通事項〕(1)を取り上げて、「内容のまとまりごとの評価規準」作成の手順を説明する。

まず、学習指導要領に示された教科及び学年の目標を踏まえて、「評価の観点及びその趣旨」が作成されていることを理解する。その上で、①及び②の手順を踏む。

<例1 第1学年及び第2学年「A表現」(1)歌唱の活動及び〔共通事項〕(1)>

【小学校学習指導要領 第2章 第6節 音楽「第1目標」】

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)	(2)	(3)
曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

(小学校学習指導要領 P. 116)

【改善等通知 別紙4 音楽(1)評価の観点及びその趣旨 <小学校 音楽>】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解している。 (※1) ・表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌ったり、演奏したり、音楽をつくったりしている。(※2)	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見だし、音楽を味わって聴いたりしている。	音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

(改善等通知 別紙4 P. 14)

※ 「知識・技能」の観点の趣旨は、知識の習得に関すること(※1)と技能の習得に関すること(※2)とに分けて示している。これは、学習指導要領の指導事項を、知識に関する資質・能力(事項イ)と技能に関する資質・能力(事項ウ)とに分けて示していること、技能に関する資質・能力を「A表現」のみに示していることなどを踏まえたものである。また、「A表現」の題材の指導

に当たっては、「知識」と「技能」の評価場面や評価方法が異なることが考えられる。したがって、「A表現」の題材では、評価規準の作成においても「知識」と「技能」とに分けて設定することを原則とする。なお「B鑑賞」の題材では、※2の趣旨に対応する評価規準は設定しない。

【小学校学習指導要領 第2章 第6節 音楽「第2 各学年の目標及び内容」

【第1学年及び第2学年】 1 目標

(1)	(2)	(3)
曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。	音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。	楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

(小学校学習指導要領 P. 116)

【改善等通知 別紙4 音楽（2）学年別の評価の観点の趣旨

＜小学校 音楽＞第1学年及び第2学年】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付いている。 ・音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付け、歌ったり、演奏したり、音楽をつくったりしている。	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだし、音楽を味わって聴いたりしている。	音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

(改善等通知 別紙4 P. 14)

① 各教科における「内容のまとまり」と「評価の観点」との関係を確認する。

A表現

(1) 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつこと。

イ 曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くこと。

ウ 思いに合った表現をするために必要な次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。

(ア) 範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能

(イ) 自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能

(ウ) 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能

〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えること。

イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる身近な音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて理解すること。

(下線)…知識及び技能に関する内容

(波線)…思考力、判断力、表現力等に関する内容

＜参考：〔共通事項〕について＞

○「内容のまとまり」と〔共通事項〕との関係

- ・〔共通事項〕アは、思考力、判断力、表現力等に関する内容を示しており、〔共通事項〕アと各領域や分野の事項アは、一体的に捉えるべき内容である。〔第1学年及び第2学年の例〕

歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え⇒			
⇒歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつこと。	⇒器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつこと。	⇒音楽づくりに関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)をできるようにすること。	⇒鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴くこと。

このように、〔共通事項〕アは、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の全ての事項アの文頭に位置付く性格のものである。

- ・〔共通事項〕イは、知識に関する内容を示しており、全ての「内容のまとめり」において、その趣旨を踏まえて適切に指導すべき内容である。

○評価規準作成の際の〔共通事項〕の位置付け

- ・〔共通事項〕については、配慮事項に『A表現』及び『B鑑賞』の指導と併せて、十分な指導が行われるよう工夫すること」と示している。また、「小学校学習指導要領解説音楽編」において「指導計画の作成に当たっては、各領域や分野の事項と〔共通事項〕で示しているア及びイとの関連を図り、年間を通じてこれらを継続的に取り扱うように工夫することが重要である。」と示している。このことから、〔共通事項〕(1)の事項ア及び事項イについては、各領域や分野の事項との関連を図った上で、指導と評価を行う必要がある。なお、事項アについては、全ての題材で必ず位置付けなければ学習として成立しないため、「思考・判断・表現」の観点の趣旨の中に位置付けている。
- ・一方、事項イについては、「知識」の観点の趣旨に直接的には示していない。事項イの内容については、「音楽における働きと関わらせて理解すること」と示しており、主に「曲想と音楽の構造との関わり」について理解する過程や結果において理解されるものである。

<参考>

A表現

(1)歌唱の活動

ア…思考力，判断力，表現力等に関する内容

イ…知識に関する内容

ウ…技能に関する内容

(2)器楽の活動

ア…思考力，判断力，表現力等に関する内容

イ…知識に関する内容

ウ…技能に関する内容

(3)音楽づくりの活動

ア…思考力，判断力，表現力等に関する内容

イ…知識に関する内容

ウ…技能に関する内容

B鑑賞(1)鑑賞の活動

ア…思考力，判断力，表現力等に関する内容

イ…知識に関する内容

〔共通事項〕(1)

ア…思考力，判断力，表現力等に関する内容

イ…知識に関する内容

② 【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する。

(1) 「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する際の【観点ごとのポイント】

○「知識・技能」のポイント

- ・事項イ及びウの文末を「～している」と変更して作成する。
- ・事項にある「次の(ア)及び(イ)」や「次の(ア)から(ウ)まで」の部分は、(ア)から(ウ)までの事項のうち、いずれかを選択して置き換え作成する。なお、技能に関しては「～をするために必要な」の後に適宜「,」を挿入する。

○「思考・判断・表現」のポイント

- ・[共通事項] アの文末を「～考え,」と変更し、その後に扱う領域や分野の事項アを組み合わせ、文末を「～している」と変更して作成する。
- ・事項アでは、前半部分に「知識や技能を得たり生かしたりしながら」と示しているが、この「得たり生かしたり」は、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」とがどのような関係にあるかを明確にするために示している文言であり、内容のまとまりごとの評価規準としては設定しない。

○「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

- ・当該学年の「評価の観点の趣旨」の内容を踏まえて作成する。「評価の観点の趣旨」の文頭部分「音や音楽に親しむことができるよう,」は、「主体的に学習に取り組む態度」における音楽科の学習の目指す方向性を示している文言であるため、内容のまとまりごとの評価規準としては設定しない。
- ・「評価の観点の趣旨」の「表現及び鑑賞」の部分は、扱う領域や分野に応じて「歌唱」「器楽」「音楽づくり」「鑑賞」より選択して置き換える。なお、「学習活動」とは、その題材における「知識及び技能」の習得や「思考力、判断力、表現力等」の育成に係る学習活動全体を指している。
- ・「評価の観点の趣旨」の「楽しみながら」の部分は、「主体的・協働的に」に係る言葉であり、単に活動を「楽しみながら」取り組んでいるかを評価するものではない。あくまで、主体的・協働的に取り組む際に「楽しみながら」取り組めるように指導を工夫する必要があることを示唆しているものである。

＜参考：第1学年及び第2学年 「A表現」(1)歌唱の活動 及び[共通事項](1)＞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて<u>気付いている</u>。 ・思いに合った表現をするために必要な、[事項ウの(ア)、(イ)、(ウ)]（いずれかを選択）を<u>身に付けている</u>。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて<u>考え</u>、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いを<u>もっている</u>。	音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に <u>歌唱</u> の学習活動に取り組もうとしている。

（２）学習指導要領の「２ 内容」及び「内容のまとめりととの評価規準（例）」

	知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	学びに向かう力，人間性等
学習指導要領 ２ 内容	イ 曲想と音楽の構造との関わり，曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くこと。 ウ 思いに合った表現をするために必要な次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。 (ア) 範唱を聴いて歌ったり，階名で模唱したり暗唱したりする技能 (イ) 自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能 (ウ) 互いの歌声や伴奏を聴いて，声を合わせて歌う技能 〔共通事項〕 イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる身近な音符，休符，記号や用語について，音楽における働きと関わらせて理解すること。	ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら，曲想を感じ取って表現を工夫し，どのように歌うかについて思いをもつこと。 〔共通事項〕 ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さ，美しさを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えること。	※内容には，学びに向かう力，人間性等について示されていないことから，当該学年目標 (3) を参考にする。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとめごとの評価規準例	・曲想と音楽の構造との関わり，曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 ・思いに合った表現をするために必要な，範唱を聴いて歌ったり，階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。 ・思いに合った表現をするために必要な，自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。 ・思いに合った表現をするために必要な，互いの歌声や伴奏を聴いて，声を合わせて歌う技能を身に付けている。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さ，美しさを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲想を感じ取って表現を工夫し，どのように歌うかについて思いをもっている。	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 ※必要に応じて学年別の評価の観点の趣旨のうち「主体的に学習に取り組む態度」に関わる部分を用いて作成する。

＜例 2 第 5 学年及び第 6 学年「A 表現」(3) 音楽づくりの活動及び〔共通事項〕(1)＞

【小学校学習指導要領 第 2 章 第 6 節 音楽「第 1 目標」】

＜例 1＞と同様のため省略

【改善等通知 別紙 4 音楽（1）評価の観点及びその趣旨 ＜小学校 音楽＞】

＜例 1＞と同様のため省略

【小学校学習指導要領 第 2 章 第 6 節 音楽「第 2 各学年の目標及び内容」

〔第 5 学年及び第 6 学年〕 1 目標】

(1)	(2)	(3)
曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。	音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。	主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

(小学校学習指導要領 P. 121)

【改善等通知 別紙 4 音楽（2）学年別の評価の観点の趣旨

＜小学校 音楽＞第 5 学年及び第 6 学年】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解している。 ・表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌ったり、演奏したり、音楽をつくったりしている。	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだし、音楽を味わって聴いたりしている。	音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

(改善等通知 別紙 4 P. 15)

① 各教科における「内容のまとまり」と「評価の観点」との関係を確認する。

A 表現

(3) 音楽づくりの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)をできるようにすること。

(ア) 即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得ること。

(イ) 音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつこと。

イ 次の(ア)及び(イ)について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解すること。

(ア) いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴

(イ) 音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴

ウ 発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。

(ア) 設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能

(イ) 音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能

〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えること。

イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて理解すること。

(下線)…知識及び技能に関する内容

(波線)…思考力、判断力、表現力等に関する内容

以下、＜例 1＞と同様のため省略

② 【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する。

（１）「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する際の【観点ごとのポイント】

○各観点の評価規準の作成の仕方については、基本的に＜例１＞と同様であるが、以下の点に留意が必要である。

○「知識・技能」のポイント

- ・事項ウの前半部分「発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現」のうち、「発想を生かした表現」をするために必要な技能として(ア)を、「思いや意図に合った表現」をするために必要な技能として(イ)を位置付けている。よって、この部分については、(ア)及び(イ)の内容のまとまりに配慮しつつ、後半部分の「次の(ア)及び(イ)の技能」に対応する部分について(ア)を選んで置き換えた場合は「発想を生かした表現」を、(イ)を選んで置き換えた場合は「思いや意図に合った表現」を選択する。なお、「～をするために必要な」の後に適宜「，」を挿入する。

○「思考・判断・表現」のポイント

- ・〔共通事項〕アの文末を「～考え，」と変更し、その後に事項アの(ア)，(イ)のうち、いずれか適切なものを選択して挿入し、文末を「～ている」と変更する。

＜参考：第５学年及び第６学年 「Ａ表現」(３)音楽づくりの活動 及び〔共通事項〕(１)＞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・〔事項イの(ア)又は(イ)〕について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて<u>理解している</u>。 ・〔下で(ア)を選んだ場合は「発想を生かした表現」、(イ)を選んだ場合は「思いや意図に合った表現」〕をするために必要な、〔事項ウの(ア)又は(イ)〕を<u>身に付けている</u>。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて<u>考え</u>，〔事項アの(ア)又は(イ)〕(いずれかを選択し、文末を「～ている」と変更する)。	音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に<u>音楽づくり</u>の学習活動に取り組もうとしている。

(2) 学習指導要領の「2 内容」及び「内容のまとまりごとの評価規準（例）」

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
学習指導要領 2 内容	イ 次の(ア)及び(イ)について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解すること。 (ア) いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴 (イ) 音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴 ウ 発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。 (ア) 設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能 (イ) 音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能 [共通事項] イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて理解すること。	ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)をできるようにすること。 (ア) 即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得ること。 (イ) 音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつこと。 [共通事項] ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考えること。	※内容には、学びに向かう力、人間性等について示されていないことから、当該学年目標(3)を参考にする。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとまりごとの評価規準例	・いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。 ・音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。 ・発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。 ・思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得ている。 ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。 ※必要に応じて学年別の評価の観点の趣旨のうち「主体的に学習に取り組む態度」に関わる部分を用いて作成する。